社会福祉法人 新潟みずほ福祉会

令和元年事業報告書

自:平成31年4月 1日

至:令和 2年3月31日

事業報告 目次

本部	•••••	1
新潟みずほ園		6
みのり園		9
第2みずほ園		12
工房はたや		15
わぁ~らく		16
樫の木		17
西川まちなかさろん	•••••	18
みっと		19

令和元年度 事 業 報 告 書

(自) 平成 31 年 4 月 1 日 (至) 令和 2 年 3 月 31 日

1 法 人 の 概 要

主たる事務所の所在地	電話番号	代表者氏名
新潟市西区みずき野1丁目6番11号	025 (211) 8660	和田哥弥
法人許可年月日	法人許可番号	設立登記年月日
昭和 50 年 8 月 29 日	厚生省社第800号	昭和50年9月30日

2 法人の行う事業

※職員数は令和2年3月1日現在

事業名	拠点名	実施サービス名	代表役職·名	職員数
社	本部		本部長	職員 14 名
社会福祉事業			渡辺幸治	
祉事	障害者支援施設	施設入所支援 50 名	施設長	職員 44 名
業	新潟みずほ園	生活介護 60 名	田中 順	嘱託医1名
		短期入所・日中一時支援3名		
	障害者支援施設	施設入所支援 50 名	施設長	職員 46 名
	みのり園	生活介護 60 名	渡邉晴美	嘱託医1名
		短期入所・日中一時支援4名		
	障害者支援施設	施設入所支援 50 名	施設長	職員 41 名
	第2みずほ園	生活介護 60 名、	瀧澤千代美	嘱託医1名
		短期入所・日中一時支援3名		
	工房はたや	就労支援事業 B 型 24 名	所長	職員8名
		生活訓練6名	田中敦子	
		日中一時支援2名		
	障がい者(児)生活支援センター	指定特定計画相談支援	所長	職員 7名
	わぁ~らく	指定障がい児相談支援	本井ひろみ	
		新潟市委託相談支援		
	樫の木	もみじ 4名	管理者	職員 27 名
		あじさい5名	海老郁夫	
		CHみずき野壱番館7名		
		CH みずき野弐番館 5名		
		さくら壱番館 6名		
		さくら弐番館 6名		
		さくら参番館 6名		
	西川まちなかさろん	地域活動支援センターⅢ型	所長	職員3名
			嵐山淳子	
	みっと	居宅介護、同行援護、行動援護	管理者	職員3名
		新潟市移動支援	多賀邦夫	

3 評議員・役員等の状況

役	職	名		氏	名	7	現就任年月日	備考
評	議	員	村	Щ	六	郎	平成29年4月1日	
評	議	員	真	島	福	_	平成 29 年 4 月 I 日	
評	議	員	大	嶋	喜	芳	平成29年4月1日	
評	議	員	小	市	木	建	平成29年4月1日	
評	議	員	矢	部	三	次	平成 29 年 4 月 I 日	
評	議	員	吉	田	育	子	平成 29 年 4 月 I 日	
評	議	員	佐	藤	久 友	: 己	平成 29 年 4 月 I 日	
理		事	和	田	晋	弥	令和元年6月18日	理事長
理		事	塚	田	正	幸	令和元年6月18日	
理		事	野	澤	慎	吾	令和元年6月18日	
理		事	渡	辺	幸	治	令和元年6月18日	常務理事
理		事	多	賀	邦	夫	令和元年6月18日	
理		事	海	老	郁	夫	令和元年6月18日	
監		事	小	柴	昭	彦	令和元年6月18日	
監		事	鈴		木	昭	令和元年6月18日	

4 事 業 概 要

当法人は、障害者支援施設「新潟みずほ園」、「みのり園」、「第2みずほ園」、就労継続支援・自立訓練「工房はたや」、共同生活援助「樫の木」、相談支援「わぁ~らく」、地域活動支援センター「西川まちなかさろん」、居宅介護・移動支援「みっと」、在宅障がい児者の短期入所及び日中一時支援を経営し、障がい者福祉の増進に寄与してきた。

令和元年度年度における主な業務の実施状況は、次のとおりである。

第1 新潟みずほ福祉会

- 1 理事会を5回、評議員会を3回(内2回は決議の省略)開催した。(資料参照)
- 2 本部機能強化を目的に、本部事務員を増員した。
- 3 総合支援センターを建設した。
- 4 総合支援センターに本部、わぁ~らく、みっとの事業を結集した。
- 5 新生活介護事業所「おおらい」の開所に向けた準備を行った。
- 6 新潟市西区藤野木 51 番地に、当法人 7 棟目となるグループホーム「さくら参番館」を 平成 31 年 4 月 1 日より事業を開始した。(定員 6 名)。
- 7 地域活動支援センター「西川まちなかさろん」の廃止に向けた準備を行った。
- 8 利用者の健康管理のため、嘱託医等による健診を実施した。
- 9 職員の健康診断を健康医学予防協会により実施した。(直接支援職員は年2回)
- 10 日本歯科大学新潟病院の協力を得て、新潟みずほ園、みのり園及び第2みずほ園の利用者の歯科検診と診療を実施した。
- 11 働き方改革に対応する目的で、引き続き玉木社会保険労務士と契約し、就業規則や規程等の一部見直しを行った。
- 12 地域における公益的取組
 - ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会
 - ・にいがたセーフティーネット事業
- 13 社会貢献活動
 - ·講師派遣(行政、社会福祉協議会、地域小学校、各種福祉機関研修)
 - · 課外授業受入(地域保育園、小学校、中学校)
 - ・行政、地域福祉団体等の委員就任
 - 施設開放、地域行事協賛等
- 14 利用者家族等から寄付金を受けた
- 15 本年度の苦情申し立ては1件

5 理事会・評議員会開催状況

(1) 理 事 会

日時及び場所		審 議 事 項
令和元年6月3日	1	平成 30 年度事業報告及び決算認定
$13:30 \sim 14:45$	2	公益通報者の保護に関する規程の制定
第2みずほ園	3	経理規程の一部改正
	4	総合支援センター事務機器一式購入入札
	5	理事監事の候補者推薦
	6	評議員会の招集
令和元年6月18日	1	理事長の選定
16:00 ~16:10	2	常務理事(業務執行理事)の選定
新潟グランドホテル		
令和元年9月27日	1	定款の一部改正
13 : 30 ∼14 : 30	2	評議員会の招集(決議の省略)
第2みずほ園	3	運営規程一部改正
	4	地域活動支援センターⅢ型西川まちなかさろんの廃止
	5	令和元年度第1次補正予算
令和元年 12 月 16 日	1	法人事務所の所在地変更
13 : 30 ∼14 : 15	2	地域活動支援センターⅢ型西川まちなかさろんの廃止
総合支援センター	3	中・長期計画におけるコンサルタント導入
	4	令和元年度第2次補正予算
令和2年3月25日	1	定款変更、役員等報酬規程の一部改正及び評議員会の招集
13 : 30 ∼14 : 30	2	就業規程の一部改正
総合支援センター	3	給与規程の一部改正
	4	令和元年度第3次収支補正予算
	5	令和2年度事業計画・収支予算

(2) 評議員会

日時及び場所	審議事項
令和元年6月18日	1 平成30年度事業報告及び決算認定
15 : 00 ∼15 : 45	2 理事・監事の選任
新潟グランドホテル	
令和元年10月5日	1 定款の一部改正
(決議の省略:決議があ	(法人事務所の所在地変更、総合支援センターの資産追加)
ったとみなされた日)	
令和2年4月2日	1 定款の一部改正
(決議の省略:決議があ	(役員の報酬)
ったとみなされた日)	

[新潟みずほ園]

1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。

障害支援区分:区分 $6\sim44$ 名・区分 $5\sim6$ 名 区分 $4\sim1$ 平均区分:5.8

利用率: 施設入所支援97.5% · 生活介護92.4% · 短期入所73.5%

2 利用者の動向

退所6名(死亡2名、医療4名)、入所7名 利用者の年齢は平均60歳7ヶ月(男性61歳4ヶ月、女性59歳11ヶ月) 最年少39歳、最年長83歳で、65歳以上の方は17名となっている。

- 3 令和元年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
 - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
 - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。
 - (1) 居室エアコン15台入替工事

1,557,600円 (リース)

(2) 除雪機メンテナンス、部品交換

426,816円

(3) 観賞用水槽(アクアリウム)

1,340,900円(リース)

- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援等受け入れ状況

① 短期入所

延べ 807名

② 日中一時支援

延べ 0名

- (2) 災害等特例入所者
- 延べ 366名
- (3) 実習生受け入れ状況 13名、延べ 122日
- (4) ボランティア受け入れ状況 延べ 135名
- (5) 地域行事への参加、地域学校との交流
- (6) 職員を講師として派遣した
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、 技能の習得に努めた。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場所	参加者	人数
令和元. 6. 28	県身協オセロ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	5名
8. 21	タ 涼 み 会	園 内 園 前 庭	利用者、職員	73
9. 29	みずほ福祉会まつり	三 施 設	利用者、職員、家族 地域住民、ボランティア	583
10.8	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	5
10. 14	親子三代ふれあい会	中野小屋中学校 体 育 館	利用者、職員	5
12. 18	忘 年 会	園 内	利用者、職員	74
令和 2.1.15	新 年 会	園内	利用者、職員	65

[※]国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場所	対象者	人数	検診機関
令和元.5月 ~7月	胸部X線間接撮影	信楽園あかつ か診療所	利用者	50名	信楽園あかつか診 療所他
5. 29	職員定期健康診断	第2みずほ園 健康医学予防協会	職員	43	健康医学予防協会
6. 27	耳 鼻 科 検 診	園内	利用者	46	しおかぜ医院
8. 28	生活習慣病予防検診	園内	利用者	46	嘱託医
10. 2	歯 科 検 診	園内	利用者	43	日本歯科大学新潟 歯学部歯科医師
5. 15 10. 2	内 科 検 診	園内	利用者	50 50	嘱託医
11. 13	インフルエンザ 予 防 接 種	園内	利 用 者 職 員	51 43	嘱託医
12. 11	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処遇職 員	29	健康医学予防協会

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
令和元. 5. 26 10:10~	地域消防団合同 避 難 訓 練	22分50秒	利用者・職員 45名	第一避難場所
9.11 14:30~	水害避難訓練	19分43秒	利用者・職員 55	地域交流 ホーム1階
11.27 10:30~	三園合同訓練 消 防 署 立 会	11分53秒	利用者・職員 58	各居住棟 廊下奥
令和 2. 2. 19 14:00~	地震想定訓練	14分49秒	 利用者・職員 45	ふれあい ルーム

(2) 緊急連絡網による通報訓練(火災メールシステム)

実 施 日 時	所 要 時 間	備考
令和元. 6. 13 15:30~	17 時間以内の返信者 52 名	事前連絡なし
12.12 9:40~	17 時間以内の返信者 39 名	事前連絡なし
令和 2.1.29 10:15~	17 時間以内の返信者 46 名	事前連絡なし

(3) その他

実 施 日 時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和元.4.10 15:00~	防災研修	職員 4名	消防設備説明
7.31 10:30~	消火器訓練	職員 9名	
8.14 14:00~	放水訓練	職員 5名	
10.5 15:00~	防災研修	職員 2名	消防設備説明
令和 2.1.29 10:30~	防災研修	職員 7名	DVD上映

[みのり園]

1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。

障害支援区分:区分6~34名、区分5~12名、区分4~4名 平均区分:5.6

利用率:施設入所支援94.8%·生活介護98.1%·短期入所111.4%

2 利用者の動向

退所:2名 入所:4名

利用者の年齢は平均 52 歳 (男性 49 歳 4 ヶ月、女性 54 歳 8 ヶ月)、最年少は 20 歳、最年長は 80 歳で、65 歳以上の方は 12 名となっている。

- 3 令和元年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント(安全対策) と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
 - (5) 施設生活に潤いと変化を与えるため、各種の行事を実施した。
 - (6) 日中活動として、歩行、運動、アルミ缶プレス、農園芸、創作活動を実施した。
 - (7) 音楽療法を導入、アールブリュット活動へ参画をし、日中活動の充実に努めた。
 - (8) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (9) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - 10 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束の軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (11) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) 受水槽給水ポンプ交換 1,617,000円

(2) 厨房ライスロボ・冷蔵庫 1,353,000円(リース)

(3) 低床ベッド導入 1,023,840円(リース)

(4) 男性棟居室引戸入替 800,800 円

(5) 居室等エアコン 5 台入替え工事 706, 200 円 (リース)

(6) のぞみ棟入口引戸入替 495,000円

(7) デイルーム、なごみ棟にカメラ設置 382,800円

(8) センサーコール 10 台入替 380,538 円

(9) エアコンクリーニング 19 台 145, 200 円

- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
- (1) 短期入所・日中一時支援の受け入れ状況

① 短期入所 延べ 1,631名

② 日中一時支援 延べ 295名

- (2) 実習生の受入れ状況 12名 延べ 114日
- (3) ボランティアの受入れ状況 延べ 211名
- (4) 地域行事への参加、地域保育園、学校との交流居室
- (5) 職員を講師として派遣した
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場所	参加者	人数
令和元. 4. 10	観桜会・昼食会	園 内	利用者、職員	73
6. 23	レクリェーション 交 流 会	園内	利用者、職員、家族 新潟大学学生、実習生	169
7. 10	七夕	園内	利用者、職員	78
9. 29	みずほ福祉会まつり	三 園	利用者、職員、家族 地域住民、ボランティア	583
10. 14	親子三代ふれあい会	中野小屋中学校 体 育 館	利用者、職員	7
12. 20	クリスマス忘年会	園内	利用者、職員	81
令和 2.1.9	新 年 会	園内	利用者、職員	81
2.3	節 分	園内	利用者、職員	80
3. 3	ひなまつり	園内	利用者、職員	82

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

2 快砂寺の天	0E-7/100				
実施日	検診内	場所	対象者	人数	検診機関
令和元. 5. 17	利用者健康診断 胸部 X 線間接撮影	園内	利用者	48	健康医学予防協会
5. 29	職員定期健康診断	第2みずほ園 健康医学予防協	職 員	42	健康医学予防協会
6. 27	耳 鼻 科 検 診	園	利用者	46	しおかぜ医院
7. 24	内科検診	園大	利用者	49	嘱託医
8. 28	大腸がん検診	園大	利用者	38	嘱託医
8. 28	前立腺がん検診	園内	利用者	3	嘱託医
10. 24	歯 科 検 診	園	利用者	44	日本歯科大学新潟 歯学部歯科医師
11. 14	インフルエンザ 予 防 接 種	園	利 用 者 職 員	49 42	嘱託医
12. 11	職員定期健康診断	第2みずほ	直接処遇職員	32	健康医学予防協会
3. 11	内 科 検 診	園	利用者	48	嘱託医

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実 施 日 時	訓練種別	所要時間	参加者および人数	避難場所
令和元. 5. 26 10:10~	三園合同避難訓練 (夜間火災想定)	14分35秒	利用者・職員 54名	体育館
9. 26 10:30~	水害避難訓練	16分10秒	利用者・職員 72名	体育館
11. 27 10:30~	三園合同避難訓練 (日中火災想定)	13分36秒	利用者・職員 50名	体育館
令和 2. 2. 25 11:00~	地震避難訓練	6分30秒	利用者・職員 69名	体育館
3. 26 10:30~	日中火災想定 避難訓練	10分26秒	利用者・職員 69名	体育館

(2)火災通報装置・火災一斉メールによる通報訓練

実 施 日 時	所 要 時 間	備考
令和元. 6. 13 18:30~	17 時間以內返信者 37 名	事前連絡なし
12. 12 20:30~	17 時間以內返信者 47 名	事前連絡なし

(3)その他

実 施 日 時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和元. 4. 17 10:20~	防災研修	職員2名	防災機器取扱説明
7.31 10:30~	消火器訓練	職員3名	
8.20 10:30~	放水訓練	職員4名	
10.23 14:30~	防災研修	職員2名	防災基本事項説明
令和 2. 1.28 11:45~	非常食体験会	全員参加	

[第2みずほ園]

1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。

障害支援区分:区分6~42名・区分5~5名・区分4~4名 平均区分:5.7

利用率: 施設入所支援 97.8% · 生活介護 94.2% · 短期入所 95.2%

2 利用者の動向

退所3名(医療機関1名 死亡2名)、入所 2名 利用者の年齢は平均58歳1ヶ月(男性59歳2ヶ月、女性57歳0ヶ月) 最年少21歳2ヶ月、最年長は87歳0ヶ月、65歳以上は16名となっている。

- 3 令和元年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき、食の安全、嗜好、季節感に配慮し、食生活の充実に努めた。
 - (5) 行事、サークル活動を実施し、生活の潤いに努めた。
 - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) 居室エアコン入替工事 2,268,000円(60ヶ月リース)

(2) 超低床ベッド、自動寝返り支援ベッド入替 1,008,000円(60ヶ月リース)

(3) 居室スチールドア入替え工事 500,000円

(4) 中間浴機ストレッチャー追加購入 993,600円

(5) 消防用呼水槽交換 426,800 円

- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 1,045名
 - ② 日中一時支援 延べ 0名
 - (2) 実習生受け入れ状況 6名 延べ 60日
 - (3) ボランティア受け入れ状況 延べ 250名
 - (4) 地域行事への参加、地域保育園・学校との交流
 - (5) 職員を講師として派遣した
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場所	参加者	人数
令和元年 5.25	25 周年記念昼食会	園 内	利用者、職員、家族	80
6. 28	県身協オセロ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	14
9. 28	みずほ福祉会まつり	二	利用者、職員、家族 地域住民、ボランティア	583
10.8	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	10
10. 14	親子三代ふれあい会	中野小屋中学校 体 育 館	利用者、職員、地域住民	3
12. 18	忘 年 会	園内	利用者、職員	68
令和2年1.15	新 年 会	園内	利用者、職員	68

[※]国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場所	対象者	人	検診機関
				数	
和元年 5.7	│ │ 胸部Ⅹ線間接撮影	信楽園あか	利用者	39	信楽園あかつか診
~5. 28	11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-	つか診療所	73 713 12	00	療所他
5. 29	職員定期健康診断	第2みずほ園 健康医学予防協会	職員	37	健康医学予防協会
6. 26	生活習慣病予防検診	園内	利用者	38	嘱託医、アルプ
6. 26	内科検診	園内	利用者	51	嘱託医
6. 27	肺炎球菌予防接種	園内	利 用 者 65 歳以上	1	嘱託医
9. 18	歯 科 検 診	園内	利用者	40	日本歯科大新潟 歯学部歯科医師
11. 20	インフルエンザ	園肉	利用者	51	嘱託医
11. 20	予 防 接 種	M	職員	40	7/村日 口(二
12. 11	職員内科検診	第2みずほ園 健康医学予防協会	直接処遇 職 員	29	健康医学予防協会
3. 4	内 科 検 診	園 内	利用者	49	嘱託医

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
令和元. 5. 26 10:10~	地域消防団合同 避 難 訓 練 (夜間想定)	20分52秒	利用者・職員 45名	第一避難場所
11.27 10:30~	三園合同訓練 消 防 署 立 会	8分44秒	利用者・職員 58名	第一避難場所
令和 2. 2. 19 14:00~	地震想定訓練 (日中想定)	9分47秒	利用者・職員 53名	

(2) 緊急連絡網による通報訓練(火災メールシステム)

実 施 日 時	所 要 時 間	備考
令和元. 6. 26 15:30~	指定時間以内の返信者 37名	事前連絡有
12.11 14:00~	指定時間以内の返信者 28名	ホットライン使用 事前連絡有
令和 2. 2. 20 10:30~	指定時間以内の返信者 32 名	ホットライン未使用

(3) その他

実 施 日 時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和元.4.18 21 15:00~	防災研修	新任職員 4名	消防設備、避難経路説明
7.31 10:30~	消火器訓練	職員 2名	
10.23 15:00~	防災研修	異動職員 2名	消防設備、避難経路説明
令和 2. 2. 25 14:00~	防災研修	利用者・職員 12名	DVD 上映
3. 25 14:00~	消化器訓練 (水消火器)	職員 14名	

[工房はたや]

- 1 多機能型事業所[就労継続支援B型、自立訓練(生活訓練)事業]として、適正な事業運営に 努めた。
- 2 利用者の動向

男性4名退所、男性1名が利用を開始。

通所利用登録者 36 名 (男性 17 名、女性 19 名) ※新潟市 32 名 燕市 4 名 登録利用者の平均年齢は 37.2 歳、最年少 19 歳 最年長 67 歳となっている。

- 3 令和元年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 自主製品として、大豆まるごと豆腐『豆天使』製造・資源回収等を実施した。
 - (4) 授産作業として、裁断・タオル梱包・封入・委託作業(新潟県・新潟市)及び自主製品・仕入商品の販売などを実施した。
 - (5) 法人入所施設にて委託作業(除草、清掃などの環境整備)を実施した。
 - (6) 園芸作業の施設外就労を実施した。
- 4 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 地元西川地域の一員として、西川桜まつりや西川まつり、百縁市、地元保育園・小学校文化祭等に積極的に参加した。

また、地域への美化活動として、ごみ拾い、除草を行いました。

(2) 出張販売・イベント参加

潟東かもんカモねぎ祭り、特別支援学校文化祭、大学祭、専門学校祭、病院祭、他多数

- (3) 日中一時支援受け入れ状況 1名 延べ4日
- (4) 実習の受入れ状況

短大生実習等 8名 延べ63日

- (5) ボランティア受け入れ状況 延べ13名
- 5 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

[障がい者(児)生活支援センターわぁ~らく]

- 1 指定特定相談支援事業、指定障がい児相談支援事業
 - (1) サービス等利用計画およびモニタリング作成実績

(単位/件)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	計
者	計画	20	20	36	15	22	17	18	10	14	14	25	23	234	705
自	モニタリンク゛	33	40	22	41	37	31	30	28	78	43	49	39	471	705
児	計画	9	3	5	2	3	4	2	2	6	9	2	3	50	111
近	モニタリンク゛	2	4	4	3	3	10	5	5	11	6	5	3	61	111

※特定事業所加算対象

計画相談契約者数:373名(内、児童43名)※令和2年3月末日現在

内、新規契約者:11名(内、児童6名)

- (2) 基本相談含む相談および支援等実績(延件数):年間3,818件(内、児童1,114件)
- 2 指定一般相談支援事業

実績:地域移行 0件(退院)、地域定着 1件

- 3 市町村事業受託
 - (1) 新潟市障がい者基幹相談支援センター(平成30年度より、代表法人として受託) 新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアムの構成法人として 協定を結び、相談員1名、障がい児支援コーディネーター1名、事務員兼相談補 助1名出向。
 - ※新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアム構成法人 社会福祉法人 自立生活福祉会、社会福祉法人 新潟しなの福祉会 社会福祉法人 新潟みずほ福祉会
 - (2) 障害支援区分認定調查

新潟市(平成31年4月1日~令和2年3月31日、実績なし) 他 佐渡市(実績2件)

4 地域での啓発活動

地域生活支援ネットワーク形成

新潟市地域自立支援協議会、新潟市西蒲区地域自立支援協議会、西蒲区地域福祉計画・西蒲区地域福祉活動計画推進委員会等に参画し、ネットワーク形成に尽力した。

[樫の木]

1 共同生活援助事業として、適正な事業運営に努めた。

障害支援区分:区分6~5名、区分5~5名、区分4~7名、区分3~13名

区分2~4名、区分1以下~4名 平均区分:3.5

利 用 率 :94.7%

2 利用者の動向

退所 1名 入所 7名

利用者の年齢は平均52歳(男性49歳、女性56歳)

最年少は24歳、最年長は70歳で、65歳以上の方は6名となっている。

- 3 令和元年度の取り組み
 - (1) 「さくら参番館」(定員6名)の開設(平成31年4月1日)含む「もみじ」(定員4名)、「あじさい」(定員5名)、「ケアホームみずき野壱番館」(定員7名)、「ケアホームみずき野弐番館」(定員5名)、「さくら弐番館」(定員6名)、「さくら弐番館」(定員6名)のニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) 支援にあたっては、家庭的な雰囲気を大切にし、入居者の誕生日や季節の行事などを実施した。また、生活全般においては可能な限りご自分でできるように助言、支援に努めた。
 - (3) 利用者の、毎日の健康チェック、定期通院や緊急時の通院、治療等、バックアップ施設や日中活動先の事業所と連携し健康管理に努めた。

夏季期間(7月~9月)は衛生面・水分摂取を考慮し、全ホームへ麦茶ペットボトルを定期購入し配分した。

- (4) 地域の中のグループホームとして、地域行事の催し物に参加した。
- (5) 防災対策として、各ホームごとに避難訓練を実施し、地域の防災訓練にも参加した。
- (6) もみじ、あじさいの老朽化に伴い建て替えの検討を行った。
- 4 利用者の住環境整備のため以下の事業を実施した。
 - (1) 歩道切り下げ工事

1,080,000 円

「 地域活動支援センター「西川まちなかさろん」]

- 1 地域活動支援センター事業
 - (1) 平成23年6月1日から新潟市の補助金を受け、新潟市西蒲区曽根223に地域活動支援センター「西川まちなかさろん」を開所、事業継続を行ってきたが、令和元年度、令和2年3月をもって事業を終了した。
 - (2) 利用者数

月	4	5 目	6	7 目	8	9 目	10 月	11月	12 月	1	2	3	計
	月	月	月	月	月	刀				刀	月	月	
利用延べ	175	165	175	190	139	136	173	178	170	159	149	135	1, 944
人員	110	100	110	130	100	150	113	110	110	103	143	100	1, 544

(動向) 4月登録者 18名 途中利用中止 1名 新規利用登録者 1名

2 令和元年度活動内容

- (1) 地域の茶の間として活用した。
- (2) 季節に応じた装飾や創作活動を行った。
- (3) 社会体験活動や季節行事を行い、自立支援・活動の充実を図った。

3 地域への貢献活動

- (1) 曽根小学校花壇整備協力、美化活動等の活動を行った。
- (2) 曽根小学校の校外学習に協力した。
- (3) 西川地域の一員として、西川桜まつり、百縁市、西川まつり傘ぼこ人形作り、およびまつり行列に参加した。
- (4) 講師を招いての創作ワークショップ『ほこほこ*あ~と』を開催した(2回)。

4 ギャラリー、店舗の利用状況

- (1) 手芸作品展(1回)、地域の伝統工芸作品展(1回)、他事業所の作品展(4回)、 当事業所利用者作品展で使用した。
- (2) サロンコンサート、ヨガ教室、さろんマジック、編み物教室、ワークショップで使用した。

【みっと】

- 1 活動内容
- (1) 利用者(児)が居宅において自立した日常生活を営むことができるように支援した。
- (2) 地域や家庭との結びつきを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、社会地域の保健・医療・福祉サービスとの連携に努めた。
- (3) 利用者の人権を尊重し、利用者の立場に立った適切な支援を提供した。

2 活動報告

(1) 居宅介護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ 人数	14	20	16	18	15	15	18	18	19	17	18	16	204

(2) 同行援護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ 人数	10	6	10	5	5	9	6	11	8	6	4	6	86

(3) 行動援護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ 人数	7	7	7	8	8	7	4	7	8	6	6	8	83

(4) 移動支援事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ 人数	131	118	130	132	111	122	123	128	118	115	119	117	1, 464

(5) 福祉有償運送事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ 人数	163	141	156	160	157	144	146	153	142	134	125	113	1, 734
車両運行 時間	56時間 10分	56時間 10分	61時間 40分	58時間 5分	59時間 30分	59時間 45分	58時間 40分	63時間 10分	57時間 15分	56時間 30分	52時間 40分	45時間 25分	685時間
運行距離 (km)	2, 290	2, 064	2, 295	2,006	2, 239	2, 131	2, 092	2, 283	2, 075	1, 901	1, 837	1, 517	24, 730